

# 報 告 書

開催日時	平成27年5月18日(月)午後7時00分～8時30分	
開催場所	竹駒定住促進センター	
出席議員	挨拶 菅野 稔班長	
	司会進行	菅野 広紀
	報告者	伊勢 純
	記録者	佐々木一義
	議員	松田 信之 (欠席：小松 眞)
参加人数	14名	
主な要望・提言等	<p>○新エネルギー設備導入促進事業費は何か。</p> <p>○小学校再生可能エネルギー等導入事業は、どこに導入されるのか。</p> <p>○区画整理事業が目に見えない。</p> <p>○人口流失について、どのように考えているのか。</p> <p>○復興交付金の一部地元負担に対して、議会として、なぜ、積極的な動きを見せないのか。</p> <p>○基金の積み立て 250 億円されているが、事業期間が過ぎて、国が事業の見直しで、復興交付金の返却を求められるか。</p> <p>○移転用地管理費の充実を。</p> <p>○再建される県立高田病院の内容はどのようなものか。</p> <p>○高台移転で切土盛土して住宅を建てるさいに地盤調査し、盛土の地耐力は基準をクリアしているが、切土の方が強すぎて、将来地盤が変形する可能性があるため、市として責任を明確にしてもらうために、議会で質問し議事録に残してもらいたい。</p> <p>○市政懇談会を復活してほしい。</p> <p>○廻館橋から 500Mまでの 340 号改修工事業者決まったが、あとの工事が決まっていない今、地元一部負担を求める国により、建設工事が途中で終わるのでないかと心配です。</p> <p style="padding-left: 2em;">以前に道路に使うからと売られ、今度は、新しく道路をつくるからと売った土地を買われ、計画された水路と道を売られた。</p> <p>○大船渡線の鉄路での復活の見通しはどうか。</p> <p style="padding-left: 2em;">復活を望むならば、我々は車を捨てて J R を利用すべきだ。</p> <p>○B R Tの方が便利と思うのであれば、早く決断すべきでないか。</p> <p>○長部災害公営住宅の入居状況はどうか。</p>	

- |  |   |
|--|---|
|  | <p>○公営住宅一室当たりの建設コストは 2800 万円で、住田の市営住宅の一戸当たりの建設コストは 1800 万円である。今後の建設を戸建て見直してはどうか。</p> <p>○愛宕山が削られ、新しく今泉のまちができるので、博物館を気仙町に建設したはどうか。</p> <p>○市長は、若者の意見を聴くだけでなく、年長者の意見も聞いてもらいたい。</p> <p>○防災集団移転事業が、まだ終わっていない地区はどこか。</p> |
|--|---|

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員会小委員長 松田 信之 様

平成 27 年 6 月 8 日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第 10 条第 1 項の規定により提出します。

平成 27 年議会報告会 1 班

班 長 菅 野 稔 ⑩